

対馬釜山事務所だより

ギョルシル ゲジヨル ガウル (実る季節、秋)

秋に万物が実るといことはどの国でも変わりはないでしょう？

韓国の秋のイメージは、真っ赤な色を誇る柿や割れた「いが」にみっちり詰まっている栗がダントツで、テレビのコマーシャルにもよく使われています。その他にはりんご、梨、ナツメなども連想します。

日本ではどうですか？ 知り合いに聞いてみました。

「栗、きのこ、銀杏、どんぐり、米…」と答えました。

「ま～、似たもんだなあ～」と思いながらも、ちょっと「きのこ」はなぜ入っているのでしょうか？「実」といったら、「丸い」というイメージしか持っていない私にはピント来ないですね。キノコを横ではなくて、上から見ると丸いけど。。。

さて、話は一端、変わりますが、国際交流でもこの秋、実りがありました。

対馬と釜山の影島区と姉妹縁組を結んでいることは皆様、ご存知でしょうか？同じ島という地域性を生かした交流を通し、両地域の発展に繋げるために開いている行政セミナーが今年で10回目を迎えました。行政セミナーは両地域の公務員が集まり、互いの行政政策を発表し、いい点を取り入れることを目指しています。今年11月16日、影島区で開催され、対馬からは木谷助役を始めとする総勢18名が参加しました。影島区は図書館の運営事例について、対馬市は対馬と韓国の物的交流についての発表を行い勉強しました。

もう一つは、11月18日、厳原町観光協会が釜山で観光説明会を開きました。観光説明会では、釜山周辺の旅行エージェントに対馬の観光地及び物産品を紹介し、そして、対馬に旅行客を連れて行くエージェントの苦勞や対馬で改善してほしい点を提案し、また一方で、対馬で観光客に守ってほしい点などを話し合いました。今年も26社50名あまりの関係者が参加しました。

19日は釜山の繁華街であるロッセデパートの前で、対馬の観光地のビデオをながしたり、パンフレットを配ったりして、街の中での対馬宣伝にがんばりました。

対馬は自然豊かな島です。そして、それが一番のメリットにもなります。これからは韓国からの観光客に対馬の自然の大切さを知ってもらおうと同時に、愛着をもって自然に接して頂けるように釜山事務所はもっともっと頑張ります。対馬の自然がいつまでも綺麗でそして、対馬が有名になることが釜山事務所の「実」なのですから。



行政セミナーの参加者



観光説明会の様子

対馬釜山事務所 金 京一、辛 恩京